

コロナ対策

コロナ感染封じ込めに検査の拡大を ワクチン接種への対応も課題です…



5月10日	高齢者施設入所者(1,900人)から接種を開始
5月12日	75歳以上の高齢者(25,000人)へ接種券を郵送
5月17日	75歳以上高齢者のワクチン接種の予約を開始
5月24日	集団接種会場において高齢者の接種を開始(集団接種)
5月26日	65歳以上75歳未満高齢者(24,000人)へ接種券を郵送、予約を開始

お問い合わせ ワクチン接種コールセンター
0120-027-030 午前8時30分～午後5時15分

国のワクチンの供給状況により変更の可能性もあります。

【接種会場】
常設...荒川総合スポーツセンター小体育室・サンパル荒川5階・ムーブ町屋4階・ホテルラングウッド6階・汐入公園防災備蓄倉庫・都立大学荒川キャンパス1階体育館(周辺の改修工事が予定されているため7月以降は会場を男女平等推進センターに移行)
臨時... (土日のみ実施) 5月29日から第七峡田小学校(1階体育館)・尾久八幡中学校(2階体育館)・尾久ふれあい館(4階多目的室・レクホール)で順番に接種実施。

区内医療従事者へのワクチン接種が始まったばかりですが75歳以上高齢者分は確保…個別接種、接種体制など課題

緊急事態宣言の中、荒川区でも感染拡大が止まりません(左グラフ参照)。変異株の拡大が広がっているだけに感染の封じ込めに全力を上げるときです。同時に、ワクチン接種の動向に関心が集まっています。

ワクチンの配分は、東京都全体で5月10日と17日の週の配分で調整が行われ、荒川区には合計で51箱到着することになりました。これで75歳以上2回接種分は確保されました。

医療関係者への接種は?
区内医療機関では4月20日現在で接種が完了しているのは東京女子医大のみでした。他の医療機関の分もやっと医師会に届き、接種が始まっています。

区民へのワクチン接種について2月に「医療機関ごとの個別接種が始まったばかりですが75歳以上高齢者分は確保…個別接種、接種体制など課題」

「接種が出来ないか」医師会がアンケートを行っています。「個別接種を考えている」と45%が回答しています。しかしワクチンの保管や副反応への対応とともに、医療従事者の接種が遅れている中で、高齢者に接種を行うことへの疑問・不安の声が少なくないようです。政府や東京都の責任で、迅速な対応が求められます。

区は電話30回線用意…申し込み、予約はどのようになる?
予約の申し込みが殺到し、受け付けがパンクした自治体のことが報じられました。朝から何十回もかけているが電話が繋がらないと役所に人が殺到するなどの事態が起きたようです。

荒川区は、電話を30回線用意して対応する予定ですが、どう



なっていくのか、心配です。

区内65才以上高齢者(5万人)のワクチン接種(2回)が完了するのは現在の体制で順調に推移したとしても7月までかかるかもしれません。

荒川区はMRT(日本最大級の医師・看護師人材紹介会社)に医師延べ3070人・看護師延べ8100人、荒川区医師会に医師延べ2360人を要請しています。全都全国で一斉に行われているだけに人材確保は、大丈夫でしょうか。

いずれにしても丁寧な周知と接種のための体制確保と支援が必要で



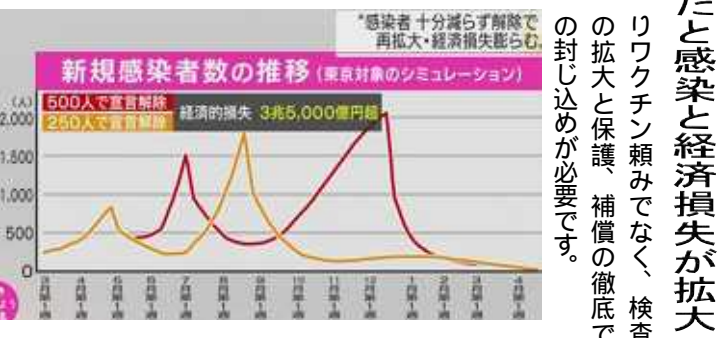
感染対策

感染者減らずに解除だと感染と経済損失が拡大

緊急事態宣言を解除する際の感染者数と経済的な損失について東京大学の仲田泰祐准教授らグループがシミュレーションを行い、感染者数が十分に減らないまま宣言を解除すると再び感染拡大を招き、経済的な損失も膨らむとする計算結果を公表(下グラフ)。

仲田准教授は、条件や想定次第で結果が大きく変わること

に注意が必要だとし「緊急事態宣言を発令する以上、できるだけ感染者数を下げることで、感染対策だけでなく中長期的な経済活動の観点からも重要」と話しています。やは



区として独自の検査拡大などで封じ込めを 区の新たな事業は…検査はどうなるの…

ワクチン接種は重要ですが、効果が出るには時間がかかります。同時に必要なことは感染の封じ込めに向けた、十分な「検査」「保護」「補償」が必要です。国た都の対策が行き届かなければ、区として区民に寄り添った支援の具体化も必要です。

こうした中、今後荒川区が新規に行う事業では…

コロナ感染による自宅療養者への医療支援事業
電話による健康相談、必要に応じて医師の往診、処方を受けられる体制確保(9月30日まで)。
介護事業所、障害者事業所の職員などへ検査拡大を計画。などあります。しかしこれだけでよいのでしょうか。

23区でも無症状者のPCR検査を補助する自治体も増えていきます。千代田区=65歳以上・基礎疾患を持つ人などへ検査費用1回2万円上限で3回まで、足立区=高齢者への1回2000円、区内で検査できる医療機関を公表するなどです。

荒川区でも検査の規模を拡大することで、感染拡大を抑え込む取り組みの強化が必要です。



日本共産党荒川区議会議員 **横山 幸次** 区政報告 ニュース

2021年 5月号外 発行 日本共産党荒川区議会区議団
区議団控室 TEL 3802-4627 FAX 3806-9246
E-mail: arajcp@tcn-catv.ne.jp
町屋相談室 荒川区町屋5-3-5 3895-0504
E-mail: kouji.office@gmail.com

『パートナーシップ認証制度と性的少数者の取り組みに関する陳情』を荒川区議会が採択しました…！



3月17日、北海道の同性カップル3組が国を相手取った訴訟について、札幌地裁武部知子裁判長は「異性愛者と同性愛者の差異は性的思考が異なることのみ」「性的指向は自分で選べるものではない。圧倒的多数派である異性愛者の理解と許容がなければ、同性カップルの婚姻による法的な利益を一部であっても受けられないのは、同性愛者への保護が異性愛者と比較してあまりにも欠けると言わざるを得ない」「法律上、同性カップルが結婚できないことは法の下での平等を定めた憲法14条には違反する」という歴史的な判決を下しました。

陳情の趣旨
荒川区で、同性同士で生活する者を含め家族として扱う「パートナーシップの認証制度」を早期に創設し、その存在を公に認めることで、性的少数者にとっても住みやすい、魅力あるまちづくりをしてください。また荒川区の「荒川区男女共同参画社会推進計画」及び「荒川区人権推進指針」に性的マイノリティに関する施策を盛り込んでください。

4月26日開会の区議会本会議で、「荒川区におけるパートナーシップの認証制度および性的少数者に関する諸問題への取り組みに関する陳情書」が賛成20反対11で採択されました。

区議会で採択されたことは大きな意味があります。

陳情採択で荒川区には陳情趣旨に基づく具体化が求められま

す。日本共産党区議団は、早くから性的マイノリティ当事者のみなさんとの懇談も重ね、ジェンダー平等やパートナーシップ制度などの導入を区議会などの場で求めてきました。早期実現へ、採択に賛成した会派や議員のみなさんとも力を合わせます。

2015年、東京の渋谷区と世田谷区で、同性カップルを自治体が証明したり、宣誓を受け付けたりなどできるようになり、4月1日現在で1000自治体で実施しています。多様性が尊重され、誰もが住みやすい荒川区をめざします。

区議会で採択されたことは大きな意味があります。

陳情採択で荒川区には陳情趣旨に基づく具体化が求められま

す。日本共産党区議団は、早くから性的マイノリティ当事者のみなさんとの懇談も重ね、ジェンダー平等やパートナーシップ制度などの導入を区議会などの場で求めてきました。早期実現へ、採択に賛成した会派や議員のみなさんとも力を合わせます。

2015年、東京の渋谷区と世田谷区で、同性カップルを自治体が証明したり、宣誓を受け付けたりなどできるようになり、4月1日現在で1000自治体で実施しています。多様性が尊重され、誰もが住みやすい荒川区をめざします。

共産(6)	自民(10)	公明(6)	立憲ゆい 無所属(3)	次世代 あらかわ(2)	日本 創新党(1)	自由民主 の会(1)	元気 クラブ(1)	維新(1)
○	×	○	○	○	×	○	○	○

核兵器禁止条約に署名・批准求める陳情は…！

4月26日、区議会本会議にはパートナーシップ認証制度に関する陳情とともに、核兵器禁止条約に署名・批准を求める陳情書の採決が行われました。審査した総務企画委員会で採択、趣旨採択、不採択のいずれも過半数に達せず「三者三様」の結果でした。

公明党区議団は、本会議の討論で「北朝鮮ミサイル発射」など例に米国の抑止力で安全が保たれており「核兵器禁止条約への署名は現在の安全保障を放棄する」ものなどとして趣旨採択を主張。

本会議の採択は、「三者三様」でした。そのため採択と不採択だけの採決となりましたが公明党が棄権したため採択、不採択とも過半数にならず議決に至りませんでした。

核抑止力は、核兵器の使用を前提とした威嚇の政策に他なりません。しかも際限のない核軍拡競争に陥る論理です。核兵器禁止条約は、「核兵器は違法」として核兵器保有国や、核兵器に依存する国を、「国際法違反の国」とするものです。こうした意義を持つ条約の署名、批准を広げてこそ、核兵器廃絶の道が開けるのではないのでしょうか。

核兵器禁止条約に署名・批准求める陳情は…！

4月26日、区議会本会議にはパートナーシップ認証制度に関する陳情とともに、核兵器禁止条約に署名・批准を求める陳情書の採決が行われました。審査した総務企画委員会で採択、趣旨採択、不採択のいずれも過半数に達せず「三者三様」の結果でした。

公明党区議団は、本会議の討論で「北朝鮮ミサイル発射」など例に米国の抑止力で安全が保たれており「核兵器禁止条約への署名は現在の安全保障を放棄する」ものなどとして趣旨採択を主張。

本会議の採択は、「三者三様」でした。そのため採択と不採択だけの採決となりましたが公明党が棄権したため採択、不採択とも過半数にならず議決に至りませんでした。

核抑止力は、核兵器の使用を前提とした威嚇の政策に他なりません。しかも際限のない核軍拡競争に陥る論理です。核兵器禁止条約は、「核兵器は違法」として核兵器保有国や、核兵器に依存する国を、「国際法違反の国」とするものです。こうした意義を持つ条約の署名、批准を広げてこそ、核兵器廃絶の道が開けるのではないのでしょうか。



まちの話題あれこれ(番外編)

町屋2丁目公園に隣接する民家が解体され更地に今後公園拡張用地として区が取得する予定と聞きまし

かつての町屋2丁目防災広場が町屋2丁目公園に生まれ変わってだいぶ経ちます。密集市街地に公園ができる景色も変わり、防災上も重要です。近隣の保育園(園庭がない)の園庭代わりになり、子どもたちがお散歩に来るようです。ところで、この公園の正面に食い込むように木造の老朽家屋が長らく建っていました。区は、取得したと思っていたようですが、時間がかかりました。そこには日々

の暮らしもあったのでしょ。住んでいた方がどうなったか知る由もありませんが、何らかの理由で更地になったのでし

う。区は、今年度中に取得して公園の拡張用地として整備したいとのことでした。地域の憩いの場としても防災面でも大切な空間であってほしいものです。(横山幸次)

くらし、子育て、介護、雇用…まず声をかけて下さい。解決の第一歩です

日本共産党区議団町屋地域生活相談センター
(横山幸次区議事務所)

荒川区町屋5-3-5 TEL・FAX 3 8 9 5 - 0 5 0 4
メール: kouji.office@gmail.com

定例法律相談
毎月第1月曜・午後6時～8時
横山幸次区議事務所

私たちは住民のくらしと命を守るネットワークをもっています…いつでもご相談を
「定例法律相談」は月一回開催。くらし、子育て、医療、介護、雇用、税金など、国会、都議会の共産党議員団や各分野の専門家とも連携し、ごいっしょに解決のために力をつくします。